



### ■景観の特徴、地域特性

王子山から仙崎を見下ろすと、銀黒色の瓦屋根の家並みが一望できる。また、金子みすゞが生まれ育った仙崎<sup>かいわい</sup>界隈を散策すると、古いまちなみに当時の面影がしのばれる。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

仙崎は、かつては北前船や捕鯨で栄えた港町で、今も当時の繁栄を物語る商家が残っている。潮流により砂が堆積した低い土地に家がひしめき合い、路地が縦横に通っている。

### ■景観の見方（主な視点場）

王子山に登ると、仙崎全体を見下ろすことができる。路地を散策し、古い商家を訪ね歩くことも楽しい。



#### アクセス

所在地：長門市仙崎

- 電車：JR山陰本線長門市駅～  
バスで約10分（王子山公園）
- 車：中国自動車道美祿西ICから約60分



写真提供者：山根寛広さん

### ■景観の特徴、地域特性

赤崎山中腹に掃鉢状の地形があり、その地形を利用して階段式馬蹄形の観覧席ぼていけいをつくっている。最高12段の階段状のスタンドとなっている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

16世紀後半、牛馬の疫病が大流行した際、赤崎神社に祈願し立願成就りつがんじょうじゆに感謝するために楽踊などの芸能を奉納し始めた。その際の観客席として造られたものである。9月の例祭では楽棧敷の舞台上で楽踊りと湯南南条踊りが奉納され、昔の賑わいが戻る。

### ■景観の見方（主な視点場）

楽棧敷そのものが見所であるとともに、祭りの景観もあわせて楽しみたい。



#### アクセス

所在地：長門市東深川

- 電車：JR山陰本線長門市駅～バスで約15分（赤崎神社前）
- 車：中国自動車道美祢西ICから約55分



### ■ 景観の特徴、地域特性

棚田の向こうに夕日や漁火を望むことができる。半島部分の丘陵地が海岸近くまで迫っているため、眼下に日本海を望むことができる。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

棚田は限られた土地を有効に利用しようとした先人の努力と工夫の結晶である。この地区には、約600haもの大棚田地帯が広がっており、平成11年には「日本の棚田百選」に選ばれた。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

5～6月頃、沖合にイカ漁の漁火などを見ることができる。傾斜地に棚田を開き維持してきた苦労や、水利を得るためのため池や雨乞いの風習などにも思いを巡らしたい。



#### アクセス

所在地：長門市油谷東後畑

● 電車：JR山陰本線丸駅～車で約15分

● 車：中国自動車道美祢西ICから車で約70分

※見学・撮影される方へ マナーを守り、農作業の迷惑にならないような配慮をお願いします。





写真提供者：山根満広さん

### ■景観の特徴、地域特性

三ノ瀬川の流れに沿った山あいの道を行くと、萩焼・深川窯の里が静かな佇まいをみせる。河畔にはサコンタと呼ばれる水車小屋が見られ、ここでは水車の力を使い、土を細かく砕き良質な陶土にしている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

この地は、萩市と並ぶ萩焼の里であり、今から約350年前に萩から移住した窯焼物師かまによって開かれた。現在でも四軒の窯元かまもとが落ち着いた佇まいの山里で伝統工芸「萩焼」の煙をたなびかせている。

### ■景観の見方（主な視点場）

麓ふもとから歩いて、三ノ瀬川の流れを見ながら、ら、窯元に至るまでの景観を楽しみたい。



#### アクセス

所在地：長門市深川湯本ふかわりかきもと

●電車：JR美祿線長門湯本駅～徒歩で約20分

●車：中国自動車道美祿西ICから約30分



### ■ 景観の特徴、地域特性

森は深く影を落とし、様々な伝説の残る境内は歴史の深さを物語る。桜や紅葉の名所ともなっており四季折々訪れる人々が多い。境内の前を流れる大寧寺川には、防長三奇橋に数えられる磐石橋が架かっている。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

2010年に創建600年を迎える曹洞宗そうとうしゅうの古刹である。大内氏終焉おおうちししゅうえんの地として知られ、裏山には主従の墓もある。また、磐石橋は、大小の石を組み合わせて橋梁、橋脚がつくられており、造形的に美しい。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

朱塗りの虎溪橋から磐石橋を見ると、より一層、寺の歴史を感じることができる。また、初夏にはホタルが乱舞し、カジカが鳴き、風情がある。



所在地：長門市深川湯本ふかわゆもと  
 アクセス ● 電車：JR山陰本線長門市駅～バスで約20分(大寧寺)  
 ● 車：中国自動車道美祢西ICから約50分



### ■ 景観の特徴、地域特性

日本海の荒々しい気候と長い歳月で形成された断崖絶壁、数多くの奇岩<sup>きがん</sup>が連なっている。夏には紺碧<sup>こんぺき</sup>の海の色、冬には季節風に舞う波の花が見られる。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

外海に面する北側の海岸は、日本海の荒波により浸食<sup>しんしょく</sup>され、断崖・絶壁・洞門<sup>どうもん</sup>・岩礁<sup>がんしょう</sup>などが形成された。「海上アルプス」と呼ばれており、北長門海岸国定公園<sup>きたながと</sup>の代表的な景観となっている。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

遊歩道から様々な景色を楽しむことができる。碧濤台展望台<sup>へきとうだい</sup>からは象の鼻や十六羅漢<sup>じゅうろくわん</sup>と名づけられた岩が見える。青海島を一周する観光船からも壮大な景色を見ることができる。



所在地：長門市仙崎<sup>せんざき</sup>  
 アクセス ●電車：JR山陰本線長門市駅～バスで約20分（静が浦<sup>しずがうら</sup>）  
 ●車：中国自動車道美祢西ICから約70分





### ■ 景観の特徴、地域特性

北側には日本海が一面に広がり、海と空のコバルトブルーの大パノラマが展開する。また、夜になれば無数の漁火が灯され、幻想的な景観となる。

### ■ 景観が育まれてきた経緯 (歴史、文化等)

標高333mの高台に草原が広がり、その広さを形容して千畳敷と名づけられた。1年を通じて日本海からの風が強く吹きつけることから、近年では風力発電用の風車が建設され、ランドマークとなっている。

### ■ 景観の見方 (主な視点場)

360度の大パノラマが展開する。東を臨めば青海島や仙崎が、北は天気良ければ見島まで見え、南・西は農村風景が広がる。



所在地：長門市日置中  
 アクセス ● 電車：JR山陰本線長門市駅～車で約10分  
 ● 車：中国自動車道美祿西ICから約70分



### ■景観の特徴、地域特性

古色蒼然とした土塀が長く続いており、それらは幾重にも改修が行われ、時代を経てきた風格を感じる。土塀からのぞく夏みかんが萩の代表的な景観として広く親しまれている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

堀内地区の夏みかんの栽培は困窮士族救済のために始まり、屋敷の土塀の多くは畑の囲いとして残され、現在も当時の風情を伝えている。昭和51年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

### ■景観の見方（主な視点場）

路地を散策すると、歴史的なまちなみを体感できる。特に、5月上旬～下旬には夏みかんが白い小さな花をつけ、甘い香りが町中に漂う。



所在地：萩市堀内

アクセス

●電車：JR山陰本線玉江駅～徒歩で約15分

●車：萩博物館駐車場から徒歩で約20分





### ■景観の特徴、地域特性

わずかに10haの林に2万5千本の椿が群生しており、おそらく世界一の密度である。椿の木の高さは6～7mもあり、木もれ日の光で、木肌のツヤや表情が、微妙に変化して見える。自生ならではの圧倒的な存在感と広がりがある。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

笠山は萩藩の直轄地として樹木の伐採が厳しく制限されていたため、かつては雑木林の中にひっそりと咲いていた。明治時代に山の伐採が進んだが、昭和45年以降、著名な研究家の助言により雑木を伐採し、現在のような群生林に成長した。

### ■景観の見方（主な視点場）

2～3月の開花期間中、群生林の遊歩道から様々な景色を眺めることができる。特に夜間に強風が吹いた翌朝は、遊歩道に赤い絨毯を敷きつめたような光景に出会えることもある。



- 所在地：萩市椿東越ヶ浜  
ちんとうこしがはま
- アクセス ● 電車：JR山陰本線越ヶ浜駅～車で約10分  
● 車：萩市役所から約20分



### ■景観の特徴、地域特性

600余基ある石燈籠と石畳に訪れた人がロウソクで火を灯し霊を弔う。美しく静かな迎え火である。風にゆれる小さな炎がひとつ、またひとつと広がっていく様はまさに幽玄といえる。夏の夜を灯す無数の小さな炎が主役である。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

大照院は、初代萩藩主毛利秀就を弔うために明暦2年（1656年）に建てられ、以来偶数代藩主の菩提寺となった。境内の奥に藩主の墓所があり、藩士が寄進した600余基の石燈籠が立ち並ぶ様は壮観である。

### ■景観の見方（主な視点場）

毎年お盆の夜（8/13）に行なわれる万灯会は幻想的な世界を作り出す。周囲の大樹山林を背景に林立している石燈籠群の姿は、春の新緑、晩秋の紅葉の時期も見事である。



所在地：萩市椿 つばき  
**アクセス**  
 ●電車：JR山陰本線萩駅～徒歩で約10分  
 ●車：萩市役所から約10分



### ■ 景観の特徴、地域特性

川面に大きな四つ手網を張った数十隻の小船が川のあちこちに陣取る漁の風景は、この川独特のものであり、萩市の早春の風物詩となっている。網の大きさは、たたみ6畳から10畳ぐらいあり、これを一日に数百回上げ下ろして、川を遡上するしろうおをすくい取る。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

萩のしろうお漁は、藩政時代から続いており、もともとは江戸時代の中期頃、河口近隣の農民が、農閑期の生業として始めたと伝えられている。現在は、萩漁協白魚組合に所属する30名ほどが漁に携わっている。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

2～3月頃、雁島橋や兩岸の川岸、近くの姥倉運河などで漁の様子を間近に眺めることができる。



所在地：萩市土原 雁島橋の周辺  
 アクセス ● 電車：JR山陰本線東萩駅～徒歩で約5分  
 ● 車：萩市役所から約10分





写真提供者：山中信助さん

### ■景観の特徴、地域特性

越ヶ浜嫁泣港は、笠山の東に位置する天然の良港で、波止場を囲むように漁村集落の家並みが連なる。周辺は漁村集落独特の情緒が漂い、北前船や漁業で栄えてきた歴史を伝えている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

越ヶ浜は、天然の良港を背景に江戸時代から北前船の風待ち港として利用されるとともに古くから漁村集落が形成され、近代に入ると遠洋漁業基地として隆盛を見た。昔、水汲みに若い嫁が苦勞したことからが嫁泣港の名となったと言われている。

### ■景観の見方（主な視点場）

船着き場の突堤から潮の香りを感じつつ、港の様子を一望するのは心地よい。



所在地：萩市ひがしはま越ヶ浜

- アクセス
- 電車：JR山陰本線越ヶ浜駅～徒歩で約20分
  - 車：萩市役所から約15分



### ■ 景観の特徴、地域特性

観音堂は海に突き出た岩の上に設けられており、お堂に行くには岸壁に設けられた階段を降りていくことになる。目前に開ける観音崎の断崖絶壁と日本海の眺めは素晴らしく、観音堂は「冥土の入口」と呼ばれている。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

観音堂は、全国3か所といわれる正観音<sup>せい観音</sup>を祭っている観音堂の一つである。応永13年（1406年）には既に建っていたと伝えられており、島の人々の信仰の対象として厚く敬われている。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

観音堂を眼下に望むことができる岬の高台からは、かつて放牧場であった草原の先に山口県最北端の北灯台やその先の日本海を見渡すことができる。



#### アクセス

所在地：萩市見島宇津

● 船：萩港から高速船で約70分、車で約15分



### ■ 景観の特徴、地域特性

平蕨台は、晩秋になると放射冷却で空気が冷やされ、快晴で無風の早朝7時頃に霧で覆われ雲海が現れることがある。広々としたほ場を覆い尽くす雲海はまるで別世界のようなものである。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

平蕨台は標高405mの台地で、農地として活用されている。平成10年には農業に携わる人が新たな分野に取り組む活性化交流施設として、「夢の一らる雲海」が整備された。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

「夢の一らる雲海」が雲海の見点場として知られている。ここから眺めると、台上は見事な雲海で覆い尽くされ、周囲の山々は島のように浮き上がって見える。



所在地：萩市<sup>ふくいのみ</sup>福井上

アクセス 平蕨台交流施設「夢の一らる雲海」

● 車：萩市役所から約30分





### ■景観の特徴、地域特性

江崎港は周囲を山に囲まれた湾奥の良港で、古くから漁村集落が立地してきた。港に浮かぶ小島にある西堂寺は、「六角堂」と呼ばれる六角円堂の地蔵堂が建立されており、歴史のある漁村集落とともに特徴ある景観となっている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

西堂寺の地蔵堂は、室町時代に創建され、その後江戸時代に現在の六角円堂となったといわれている。昭和56年には有形文化財として県の指定を受けた。また、西堂寺は、海の中の寺「浮島西堂寺」とも呼ばれ、地域の人の厚い信仰対象となっている。

### ■景観の見方（主な視点場）

江崎大漁橋からは、港や六角堂を一望することができる。また、橋を渡り漁港や巖嶋神社を一巡しながら、景観の変化を楽しむのもよい。



所在地：萩市江崎

アクセス

●電車：JR山陰本線江崎駅～車で約10分

●車：萩市役所から約50分



### ■景観の特徴、地域特性

石積みの護岸、「ハトバ」と呼ばれる台所の洗場、舟を通すための石橋など、まちなみと一体となった歴史的景観が残されている。また、地域振興、歴史・文化・伝統などの形成の視点を基準とし、全国の疎水の中から110箇所を選定した「疎水百選」に選定されている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

藍場川は、江戸時代中期に萩城下の農業・生活用水及び水運のために開削された。特に上流域には、石積み護岸や石橋など、藩政期からの面影が良好に保たれている。

### ■景観の見方（主な視点場）

藍場川の流れに沿って散策する。旧湯川家屋敷では、川の流れを取り込んだ庭やハトバ（洗場）などが往時のままで公開されている。



所在地：萩市川島

アクセス ●電車：JR山陰本線萩駅～徒歩で約20分  
●車：萩市役所から約5分



### ■ 景観の特徴、地域特性

武家屋敷が軒を連ね、歴史的雰囲気強く感じることが出来る。時を経てきた家並みや生垣・樹木は当時の風情をよく留めている。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

萩城下町は町筋が基盤目状に画され、この辺りの中・下級の武家屋敷や町家が軒を連ねていたところで、現在も当時の面影が良好に残っている。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

道の両側に武家屋敷や黒板塀が立ち並び、風情のある景観を楽しむことができる。



所在地：萩市南古萩町  
アクセス  
● 電車：JR山陰本線東萩駅～徒歩で約20分  
● 車：萩市役所から約5分





### ■ 景観の特徴、地域特性

かつての御用商人の菊屋家住宅のある通りには白壁が連なっている。漆喰の白となまこ壁の対比、不連続に開いた小窓が通りにアクセントを添えている。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

呉服町近辺は、江戸時代、藩主が参勤交代の際に通行する御成道が通り、沿道には藩の御用商人の店屋敷が軒を連ねていた。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

晴れた日には、太陽の光が反射してまぶしいほどの白いなまこ壁を見ることができる。



#### アクセス

所在地：萩市呉服町

● 電車：JR山陰本線東萩駅～徒歩で約20分

● 車：萩市役所から約5分





### ■景観の特徴、地域特性

浜崎地区はかつての海の玄関口で、海産関係の間屋や商家など、当時の建物が多く残っている。近年、地域をあげてまちなみ保存の志気が高まっており、商家の家並みが守られている。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

江戸時代、藩都萩の海の玄関口として藩の施設や各種間屋・魚市場などが集まり、賑わっていた。現在でも江戸時代から昭和初期の歴史的建造物が130棟以上残っており、平成13年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

### ■景観の見方（主な視点場）

近年、5月第3日曜日に地域をあげて民家を開放し、家に伝わるお宝を一般に公開しており、この時期に訪れると、伝統的なまちなみの雰囲気より一層楽しめる。



所在地：萩市浜崎町  
**アクセス**  
 ●電車：JR山陰本線東萩駅～徒歩で約10分  
 ●車：萩市役所から約10分





### ■ 景観の特徴、地域特性

萩城石垣は指月山を背に、400年の時の流れを醸し出している。春の桜、夏の睡蓮、晩秋から冬枯れへと、四季折々に変化する様子は、悠久の時の流れを感じさせてくれる。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

萩城は、築城後、260余年に渡り、1度も火災にも遭わず威容を誇っていたが、惜しくも明治7年に解体撤去された。当時の石組みや内堀等は良好に保存されており、国の史跡に指定されている。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

指月公園には本丸跡のほか、萩城石垣、志都岐山神社、花ノ江茶亭、東園などの遺跡が残っており、萩の歴史を感じることができる。



所在地：萩市内
アクセス ● 電車：JR山陰本線玉江駅～徒歩で約20分
● 車：萩市役所から約10分



### ■ 景観の特徴、地域特性

一升谷とは、いり豆を食べながら歩くと一升も食べられるほど長い谷であることからその名前があるという。毛利藩主は無論、吉田松陰よしたしょういんや多くの勤皇の志士達が歩いた石畳がそのまま残っている。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

萩往還は慶長9年（1604年）に藩主の参勤交代に使う御成道おなりみちとしてつくられた、萩から三田尻間みたじりをほぼ直線に結ぶルートである。一升谷付近は勾配がきつく、雨水により斜面が流されるのを防ぐために石畳が敷かれた。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

鬱蒼たる杉木立の下で、苔むした石畳を踏みしめながら、谷川のせせらぎと小鳥の鳴き声を聞きつつ、往時を偲びつつ坂道を歩くとよい。



アクセス

所在地：萩市明木あきらぎ

● 車：萩市旭総合事務所から徒歩で約40分



### ■ 景観の特徴、地域特性

交互に推積した砂岩と頁岩が黒色と淡灰色の鮮やかな縞模様を見せている。これは全国的に珍しい景観であり、断崖に砕け散る荒波は見事である。

### ■ 景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

昭和3年に名勝及び天然記念物として国の指定を受け、昭和30年には北長門国立公園の一部に指定された。ホルンフェルスという名は、この岩石を割ると角ばった破面を見せることから、角石<sup>つのいし</sup>=ホルンフェルス（horn fels：語原=ドイツ語）と呼ばれるようになったと言われている。

### ■ 景観の見方（主な視点場）

海苔岩側から海に突き出た波に洗われる断崖を眺めることができる。また、断崖の下まで歩いていき、岩を撫で一体感を感じすることもできる。



アクセス	所在地：萩市須佐
	● 電車：JR山陰本線須佐駅～車で約10分 ● 車：須佐総合事務所から約10分





### ■景観の特徴、地域特性

白い砂浜や黒松林が一体となってつくる風光明媚な海岸から、萩のシンボルである指月山が見える。青い海や空とのコントラストが美しい。

### ■景観が育まれてきた経緯（歴史、文化等）

阿武川河口の三角州突端にそびえる海拔143mの指月山は、江戸時代、萩城の一部として位置付けられていた。歴代藩主により「城山」として樹木が保護された結果、現在の照葉樹林が形成された。

### ■景観の見方（主な視点場）

菊ヶ浜の正面に指月山が見え、山と砂浜を同時に見るのがよい。また、夕暮れ時には、沖に漁火いさりびも見える。



所在地：萩市ほりうち堀内

- アクセス ●電車：JR山陰本線玉江駅～徒歩で約30分  
●車：萩市役所から約10分



### ■ 景観の特徴、地域特性

海岸線に架けられた鉄道橋で、波打ち際に美しい曲線を描き、柱と梁が連続するシンプルな構造は、日本海や海岸の風景とよく調和している。

### ■ 景観が育まれてきた経緯 (歴史、文化等)

全長189m、海面からの高さ11.6mである。潮風に強い四柱式の鉄筋コンクリート・ラーメン構造の堅牢な造りで昭和7年に完成した。平成13年に土木学会選奨土木遺産を受賞している。

### ■ 景観の見方 (主な視点場)

海岸沿いを通る県道のほか、惣郷集落の川尻バス停付近からも海に浮かぶ美しいシルエットを見ることができる。



アクセス	所在地：阿武町惣郷 惣郷川河口
	● 電車：JR山陰本線宇田郷駅～徒歩で約30分
	● 車：阿武町役場から約15分



### ■ 景観の特徴、地域特性

白砂青松の砂浜を歩くと「キュッ、キュッ」と軽やかな音を発する全国的にも貴重な鳴き砂の浜辺である。真っ青な空の下、石英質の砂浜と、透き通った日本海が広がり、夏は大勢の海水浴客で賑わう。

### ■ 景観が育まれてきた経緯 (歴史、文化等)

一時期ほとんど鳴き砂の音が出なくなってしまったが、ボランティア「鳴き砂復活隊」による毎月の清掃活動により白い砂浜と鳴き砂の音が復活している。

### ■ 景観の見方 (主な視点場)

砂浜からの眺めが美しく、砂浜を歩くと「キュッ、キュッ」という音と同時に潮騒の音を楽しむことができる。また、国道191号沿いの木とパーキングからの景観も美しい。



- 所在地：阿武町木与
- アクセス
- 電車：JR山陰本線木与駅～徒歩で約5分
  - 車：阿武町役場から約5分  
(国道191号木与パーキング)